



島原市のお財布事情

平成26年度予算が決まりました。

平成26年度の予算編成に当たっては、「市民目線に立った、オンリーワンの島原市」の実現を目指し、次に掲げる「7つの施策」に重点を置いた内容としています。

市民目線に立った、オンリーワンの島原市の実現

- ①市民目線に立った行財政改革の推進
- ②産業の振興と島原地域ブランドの確立
- ③歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大
- ④子育てにやさしいまちづくり
- ⑤高齢者や障がい者などを思いやる福祉の充実
- ⑥島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実
- ⑦安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

【一般会計】

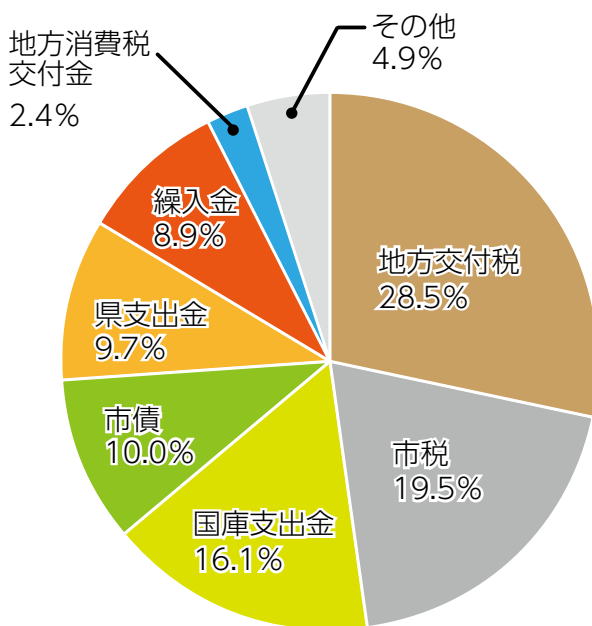
231億9200万円
(前年度比 10.5%増)

【特別会計】

89億3330万円
(前年度比 7.6%増)

平成26年度 一般会計

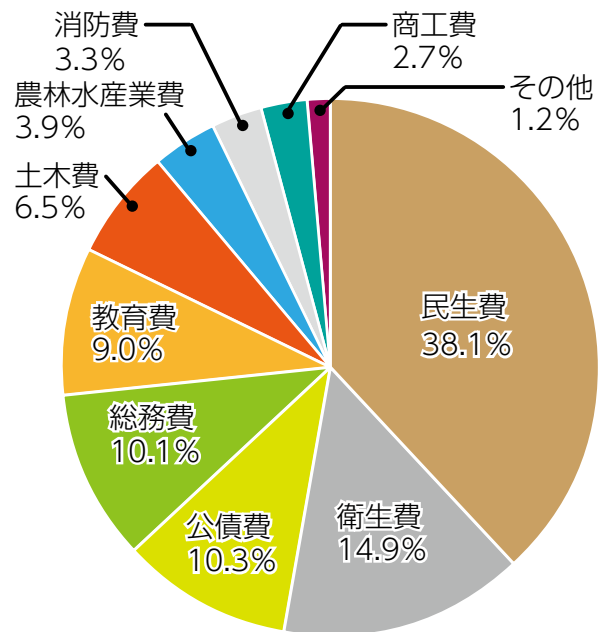
歳入



総額	231億9200万円
地方交付税	66億円
市税	45億2520万3千円
国庫支出金	37億3948万8千円
市債	23億1950万円
県支出金	22億5470万5千円
繰入金	20億5302万7千円
地方消費税交付金	5億6000万円
その他	11億4007万7千円

自主財源（市税、繰入金など）…32.3%
依存財源（地方交付税、国庫・県支出金など）…67.7%

歳出



総額	231億9200万円
民生費	88億3322万2千円
衛生費	34億6582万5千円
公債費	23億9385万6千円
総務費	23億5166万1千円
教育費	20億9158万9千円
土木費	14億9816万2千円
農林水産業費	9億12万8千円
消防費	7億6242万2千円
商工費	6億2463万円
その他	2億7050万5千円

■市民一人当たりに使われる「予算」

市民一人当たりに使われる金額がいくらになるか、主な費目ごとに表しています。
一人当たりの合計額は、488,530 円になります。

▶民生費 186,068 円

障がい者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護などに必要なお金



▶衛生費 73,006 円

健康増進、母子保健、廃棄物処理、公害対策などに必要なお金



▶公債費 50,426 円

公共施設整備などのために借りた市債の償還に必要なお金



▶総務費 49,537 円

市の管理事務や企画、統計事務などに必要なお金



▶教育費 44,058 円

学校教育・社会教育の振興、文化財保護、文化・スポーツの振興などに必要なお金



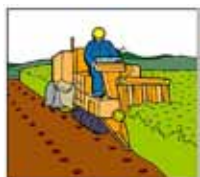
▶土木費 31,558 円

道路、公園、市営住宅の建設・管理などに必要なお金



▶農林水産業費 18,961 円

農林水産業の振興に必要なお金



▶消防費 16,060 円

消防や防災事業など、市民の安全のために必要なお金



▶商工費 13,158 円

観光事業や商工業の振興、物産流通に必要なお金



■「市税」と「市債」の市民一人当たり・一世帯当たりの負担額

- ・市税…市民の皆さんから市に納められる税金で、市民税・固定資産税・軽自動車税・都市計画税など
- ・市債…特定の建設事業を行うに当たり、その費用を賄うため銀行などから借りるお金のこと

ここでは市税と市債の一人当たりおよび一世帯当たりの負担額がいくらになるかを表しています。

市税・市債	一人当たり	一世帯当たり
市税の負担額	81,557 円	202,317 円
市債の負担額	439,548 円	1,090,382 円

※平成 26 年 4 月 1 日現在の人口と世帯数（人口 47,473 人、世帯数 19,137 世帯）で算出

※市税は、個人市民税・固定資産税（交付金納付金は除く）・軽自動車税・都市計画税の予算額の合計で、滞納繰越分を除いて推計。市債は平成 26 年度末現在高見込額で推計

平成 26 年度 特別会計

特別会計は特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合に、一般会計とは別に、その経理を明らかにするために設けた会計です。

会計別	予算額
国民健康保険事業	76 億 8226 万 8 千円
温泉給湯事業	6 億 8100 万円
島原都市計画事業安中土地区画整理事業	79 万 6 千円
後期高齢者医療	5 億 6923 万 3 千円

平成 26 年度の主な事業

「市民目線に立った、オンリーワンの島原市」を目指す主な事業を、7つの施策ごとに説明します。

1. 市民目線に立った行財政改革の推進

◎新庁舎整備事業 5699 万円

災害時の防災拠点、市民サービスの向上および行政運営の効率化を図るため、新庁舎の整備に向けて、設計および測量調査業務を行います



◎有明庁舎空調設備改修事業 6780 万円

2. 産業の振興と島原地域ブランドの確立

◎温泉給湯施設整備事業（特別会計）

5 億 9600 万円



温泉加温施設を改修し、運転費用を削減するとともに配管敷設替えにより安定した供給を行い健全な事業運営を図ります

◎起業支援型雇用創出事業 1 億 1384 万円

◎企業立地促進・雇用創出事業 3348 万円

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

◎鯉の泳ぐまち市有地整備事業 2 億 1627 万円

島原の歴史と湧水を活かした鯉の泳ぐまちの街並みにふさわしい施設などを整備します



◎浜の川「銀水」整備事業 520 万円

◎島原城天守閣復元 50 周年事業 1700 万円

4. 子育てにやさしいまちづくり

◎すこやか赤ちゃん支援事業 1499 万円

第2子以降のおむつなどの購入費用を助成することで、多くの子どもを産み育てられる環境の向上を図ります



◎すこやか子育て支援事業 5321 万円

◎予防接種事業 1 億 5470 万円

5. 高齢者や障がい者などを思いやる福祉の充実

◎島原地域小児医療学講座 540 万円

小児医療の研究、教育活動のための講座開設により懸案の島原病院小児科を4月8日から再開しました



◎高齢者福祉交通機関利用助成事業 3422 万円

◎障害者自立支援事業 14 億 4655 万円

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

◎小中学校学力向上対策事業 189 万円

学力向上を図るため、成果を上げている先進地を視察するとともに、本市独自の学力調査を実施します



◎夢の教室公演事業 119 万円

◎第五小学校鉄骨校舎改修事業 2000 万円

7. 安全で安心して暮らせる快適なまちづくり

◎汚泥再生処理センター整備事業

15 億 5767 万円

本市全体の効率的な、し尿処理を図るため、老朽化した浄化苑を建て替えます



◎消防ポンプ自動車整備事業 2800 万円

◎島原総合運動公園整備事業 9715 万円

※「平成26年度当初予算概要」および「主要事業説明書」の詳しい内容は、市ホームページ（URL：<http://www.city.shimonabara.lg.jp/>）で見ることができます

▶問い合わせ先

総務課 財政班（☎ 63-1111 内線 152）